



県内外から過去最多の 56 チームが参戦  
ドリームズスポーツ少年団が準優勝

1月24日⑤、25日⑥、31⑤及び2月1日⑥に、第20回ドリームズカップが市総合公園多目的グラウンド等で開催されました。ドリームズスポーツ少年団は、主力の5年生の半分以上がインフルエンザで欠席する中、チーム一丸となって勝ち進みました。副キャプテンの玉井佑樹さん(集合写真前列右から3番目)は、「準優勝は嬉しい反面、悔しさもあります。次はもっと打って、優勝したいです」と意気込みを見せていました。



子どもから大人までたすきリレー  
第16回市駅伝大会

1月18日⑥に、快晴の空の下、市スポーツ協会及びスポーツ少年団の主催による駅伝大会が開催され、57チーム424人が参加しました。参加者は、仲間と共に力を合わせ、応援の声に背中を押されながら走り、絆を深める素晴らしいイベントとなりました。



各部門優勝チーム

- 1\_小学生男子 南山駅伝部 A
- 2\_中学生男子 トレーフル FC A
- 3\_中学生女子 重信中学校女子陸上部
- 4\_高校生男子 県立東温高等学校サッカー部 A
- 5\_一般の部 (ショート) おい! DS
- 6\_一般 (ロング) 北吉井三島会 B



横河原集会所がこの日限りの劇場に  
演劇「拝啓、ふるさと」を上演

演劇を通して地域の居場所づくりを目指す Feel Free が主催し、1月18日⑥に、横河原集会所で演劇を上演しました。この作品は、2か月半のワークショップを通して、参加者がふるさとへの思いを書いた手紙を元に脚本を作成したり、まち歩きをしたりと、演劇を作る過程を大切にしながら制作。東温市らしい要素を交えながら、一人の大人のふるさとへの思いや人生を演じ、観客の心を惹きつけました。



河之内を愛するたくさんの人が集結  
"龍のまち河之内"の雨乞い伝承を考える

2月1日⑥に、河之内公民館で、雨滝に伝わる雨乞い伝承のシンポジウムが開催されました。当日は座席が不足するほどの大盛況ぶり。県立松山北高等学校郷土研究部と県立しげのぶ特別支援学校佐伯教諭による研究発表や、新たに発見された雨乞い仮面の公開が行われたほか、参加者同士のディスカッションも行われ、地域への愛着を深める貴重な機会となりました。



Interview



県立しげのぶ特別支援学校教諭  
なつき  
佐伯直紀さん

東温市と松前町に伝わる雨乞い伝承の調査を通して、これまで知られていなかった地元の文化に光を当てることができました。特に遠く離れた海と山の記憶が繋がったときの驚きと感動は忘れられません。その体験を今回共有した皆さんから、更に次の世代に継承したいと思っています。当日は、ご参加ありがとうございました。

交流の輪が広がる  
**第2回東温市親善訪問**

1月19日⑩に、市観光物産協会と観光交流協定を締結する(公財)広島観光コンベンションビューローの皆さんが本市を親善訪問されました。今回の訪問では、広島市の松井一實市長からメッセージが贈呈され、友好と交流を深める機会となりました。前日には、「家族で楽しむほっちょ市」に広島観光親善大使の内藤陽まりさんが来場し、訪問当日と併せて広島県の魅力をPRしました。



全国植樹祭が60年ぶりに愛媛県で開催  
**木製地球儀が市役所にやってきた**

5月の全国植樹祭開催に当たり、県内市町で木製地球儀の巡回展示が行われ、1月23日⑨から2月2日⑩まで市役所1階に展示されました。この地球儀は、国民、企業、行政の3者が森林、林業を支える姿を「3枚の葉」で表現しています。市長は木製地球儀を受け取り、「植樹祭が盛り上がるよう、しっかりPRさせていただきます」と話していました。



いつもの練習の成果を腕試し  
**eスポーツの交流試合開催**

1月8日⑧、田窪集会所で、田窪チームと若草チーム(松山市)がパズルゲームの交流試合を行いました。和気あいあいとした雰囲気の中、団体戦が行われ、結果は田窪チームの勝利。対戦後は、ゲームの攻略方法を教え合い、交流を深めました。田窪集会所では、毎月第2、第4⑧の10時に高齢者の健康づくりを目的にeスポーツをしています。お気軽にご参加ください。☎長寿介護課☎964-4408



犯罪や非行のない明るい社会へ  
**社会を明るくする運動作文コンテストで理事長賞受賞**

重信中学校2年生の福本沙恵さんが、県保護観察協会理事長賞を受賞し、1月28日⑧に表彰状が伝達されました。福本さんは「身近でも万引きなどの犯罪が起きています。犯罪を防ぐためには、花いっぱい運動などを通して地域の笑顔や繋がりを生むことが大事だと考え、作文に思いを込めました。受賞できると思っていなかったのが、嬉しい気持ちでいっぱいです」と笑顔を見せました。



宇宙を支える食の取組  
**JAXA から(株)キシモトへ感謝状**

宇宙航空研究開発機構(JAXA)から(株)キシモトへ感謝状が贈呈され、1月29日⑧に市長へご報告いただきました。同社が開発した宇宙日本食「スペースまるっとアジ(燻製しお味)」は、カルシウムを豊富に含み、捨てる部分がほとんど出ない点が特徴です。国際宇宙ステーションに長期滞在する宇宙飛行士の食事として活用されるなど、宇宙という特殊な環境に対応した食品開発の取組が評価されています。

避難所設営訓練で地域の防災力を向上  
**防災士フォローアップ研修**

1月31日⑨に、今年度の防災士資格取得者を対象とした避難所設営訓練が、中央公民館で開催されました。同訓練初の試みで同館を消灯し、夜間の被災を想定した暗闇の中、参加者全員が協力して段ボールベッドの組立やテント設営などを行いました。参加者は、「暗い中で不安もありましたが、声を掛け合って行動することができ、訓練の大切さを感じました」と振り返っていました。



守る力から、育む力へ  
**消防ホースを再活用して動物を支援**

1月26日⑧に、市消防本部が県立とべ動物園に、耐用年数が過ぎた消防ホースを寄附しました。寄附した消防ホースは、オレンジタンやチャンパンジーのハンモックやフィーダー(餌入れ)にするなど、飼育環境を充実させるために活用される予定です。市民の皆さんの命と安全を守ってきた消防ホースが、動物たちの福祉向上のために役立てられます。

